

## 1位 「マスコミの時代」

ヒミーロフ アンドレイ (サム教育学院)

石器時代、青銅器時代、鉄器時代、電気の時代など、いくつかの時代は人々の生活を変えたものから名付けられています。現代はどんな名前が合うかと考えたら、電子時代や宇宙時代などいろいろ色々選ぶことが出来ますが、私の考えではマスコミ時代という名前が今の時代を一番特徴付けていると思います。マスコミが現代の世界に与えている影響は本当に巨大です。

たとえば、東日本大震災です。この地震の前にもテレビニュースの中に半分が嘘だと思いうことがありましたが、今回の地震の後には本当のニュースという物があるのかと疑うようになりました。インターネットでロシア語と英語のテレビ番組や新聞の記事を見て、とてもびっくりしました。

ニュースによると日本の半分が津波で流されたそうです。更に福島原子力発電所が爆発してしまったため、東京で数千人の人々が、放射線と飢餓によって死亡し、数百万人の人々が逃げたということでした。死者の数が 50 万人に近付いているというニュースもありました。こんなこと、皆さん、想像できますか。しかし、世界の大勢の人々は本当に信じ、ある国の政府も信じてしまいました。

これからは、映画の監督はリポーターから学ぶべきだと思います。ニュースは映画より空想の話になったからです。新聞とテレビニュースの目的はもう人々に真実を伝えることではなくて、皆を驚かせる、びっくりさせることになってしまったのです。今や、状況がニュースを作るのではなく、ニュースが新しい状況を作り出しているのです。

今回の地震の例だけではありません。たとえば、今のリビアの状況についても、たくさん嘘がありました。今、ロシア鉄道会社はリビアに新しい鉄道線を建設しているので、出張している社員がたくさんいました。私はロシア鉄道会社で働いたことがあるので、その社員の中に知り合いもいます。リビアで長い間働いていた人の話によるとニュースでリビアについての真実の言葉は国の名前しかなかったと言うことです。今、その結果、リビアの国民にとっては以前よりも悪い状況になってしまいました。

皆さん、これからテレビや新聞などで見たニュースを信じてもいいのでしょうか。信じることが出来なかったら、どうすればいいのでしょうか。

解決方法の一つは、インターネットの国際コミュニケーションでしょう。しかし、私達はどこにも友人達がいないわけではありません。知らない人に情報をもらっても、その情報を信じるわけではありません。殊にインターネットもテレビや新聞と全く同じようになってしまったからです。

私の体験から一つ言えることがあります。それは小さいころから、幼稚園や小学校から子供を自分の頭で考えさせるべきだということです。教えられた通りにテストの問題を解

くのではなくて、考えることが大切です。自分で考えられるようになれば、作られた話と本当に真実の記事を見分けられることができると思います。

もちろん、マスコミの影響はマイナスだけではなくて、プラスの面もあります。それをどんな方向にしていくかは私達自身によります。「マスコミ」が鉄や電気などのように私たちの生活をより良い方向に変えていくことができれば、本当の意味でのマスコミの時代になると思います。